

履 歴 書

氏名： 北村行伸（きたむら ゆきのぶ）

生年月日：昭和 31（1956）年 7 月 13 日

勤務先： 東京都国立市中 2-1 〒186-8603
一橋大学 経済研究所
電話番号/Fax 042-580-8394
e-mail kitamura@ier.hit-u.ac.jp

東京都港区三田 2-15-45 〒108-8345
慶應義塾大学 商学部
電話番号 03-5427-1437
Fax 03-5427-1578
e-mail kitamura@fbc.keio.ac.jp

東京都中央区日本橋本石町 2-1-1 〒103-8660
日本銀行 金融研究所
電話番号 03-3279-1111 内線 6541
Fax 03-3510-1265
e-mail yukinobu.kitamura@boj.or.jp

学歴： 昭和 52 年 4 月 慶応義塾大学経済学部入学
昭和 56 年 3 月 慶応義塾大学経済学部卒業
指導教官：松村高夫経済学部教授
昭和 56 年 9 月 米国ペンシルバニア大学国際関係論大学院入学
昭和 57 年 5 月 米国ペンシルバニア大学大学院修士卒業 (M.A.)
指導教官：Jere R.Behrman, Professor of Economics
昭和 57 年 10 月 英国オックスフォード大学経済学部大学院入学
昭和 63 年 11 月 英国オックスフォード大学大学院博士卒業 (D.Phil)
指導教官：Amartya K.Sen, Professor of Economics
Jennifer Corbett, Lecturer of Economics

専攻分野：マクロ経済学、応用計量経済学、金融・財政論、公共経済学

職歴： 昭和 62 年 1 月—昭和 63 年 11 月
英国オックスフォード大学研究助手
昭和 63 年 12 月—平成 3 年 8 月
経済協力開発機構 (OECD) パリ事務局事務官
平成 3 年 9 月—現在
日本銀行金融研究所研究員
平成 4 年 4 月—平成 10 年 3 月
一橋大学経済研究所非常勤講師
平成 7 年 4 月—現在
東京経済研究センター (TCER) 研究員
平成 8 年 2 月
社会保険大学校高等科研修講師
平成 8 年 4 月—平成 11 年 3 月
慶應義塾大学商学部客員助教授
平成 11 年 4 月—平成 14 年 10 月
一橋大学経済研究所助教授
平成 11 年 4 月—平成 14 年 10 月
慶應義塾大学商学部特別研究助教授
平成 14 年 11 月—現在
一橋大学経済研究所教授
平成 14 年 11 月—現在
慶應義塾大学商学部特別研究教授
平成 21 年 4 月—現在
財務省財務総合政策研究所特別研究官
平成 27 年 4 月—現在
一橋大学経済研究所所長

委員会・研究会：

平成 9 年 3 月-平成 15 年 3 月
厚生省国立社会保障・人口問題研究所
少子化問題研究会「女子労働と出生力」小委員会
平成 10 年 2 月-平成 12 年 3 月
財団法人社会経済生産性本部
「福祉政策特別委員会」専門委員

- 平成 12 年 6 月 - 平成 15 年 9 月
通産省企業統計研究会
「企業統治構造分析委員会」委員
- 平成 16 年 4 月 - 平成 17 年 3 月
社団法人全国銀行協会 金融調査研究会
「電子決済の進展と金融・経済の変化研究会」委員
- 平成 17 年 6 月 - 平成 21 年 3 月
独立行政法人国際協力機構
課題別支援委員会（金融分野）委員
- 平成 17 年 7 月 - 現在
内閣府経済社会総合研究所「経済分析」編集委員
・ 編集評議員
- 平成 20 年 10 月 - 現在
財務省財務総合政策研究所
特別研究官
- 平成 23 年 10 月 - 現在
内閣府統計委員会委員
- 平成 25 年 4 月 - 平成 26 年 3 月
社団法人全国銀行協会金融調査研究会
「わが国の財政問題と金融システムへの影響」委員
- 平成 26 年 10 月 - 平成 32 年 9 月
日本学術会議 第 23-24 期会員(第 1 部会)
- 平成 27 年 1 月 - 現在
内閣府統計委員会委員長代理

海外研究訪問先：

ケニヤ中央銀行附属ケニヤ金融学校、
1999-2008 (国際協力機構技術支援プログラム)

ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン経済学部、
2003 年 2-3 月

ボッコーニ大学（イタリア・ミラノ）経済・経営学部、
2007 年 10 月

フィンランド中央銀行調査局、2009 年 7-8 月

スウェーデン王立工科大学経済学部、2009 年 9 月

インド統計研究所、2010 年 2 月

オーストラリア国立大学・クロフォード行政大学院

オーストラリア日本研究所、2010 年 3 月

オークランド大学経済学部ビジネス・スクール、

2010 年 3 月

所属学会：Econometric Society、1983-

日本経済学会（旧 理論・計量経済学会）、1985-

American Economic Association (U.S.A)、1988-

日本統計学会、1998-

日本金融学会、2010-

日本財政学会、2010-

編集委員：

経済分析（内閣府経済社会総合研究所）、2005-

Singapore Economic Review、2010-

Hitotsubashi Journal of Economics, 2013-2014, 2015- (Editor)

編集レフリー：

American Economic Review, Asian Economic Policy Review,

Journal of Public Economics, 経済研究（一橋大学経済研究所編集）、

金融研究（日本銀行金融研究所）、

Journal of The Japanese and International Economics, Scandinavia

Journal of Economics, The Japanese Economic Review, Japan and The

World Economy, Hitotsubashi Journal of Economics, Journal of

Macroeconomics, Economics Bulletin, Singapore Economic Review,

家計経済研究（家計経済研究所）、日本経済研究（日本経済研究

センター）、経済分析（内閣府経済社会総合研究所）

Oxford University Press (referee for books on economics)

博士号取得者（一橋大学大学院経済学研究科）：

- 栗田 匡相 2006 年 5 月 17 日、現・関西学院大学
劉 群 2006 年 7 月 12 日、現・一橋大学経済研究科
早川 和彦 2007 年 3 月 23 日、現・広島大学
宮崎 毅 2007 年 5 月 16 日、現・九州大学
鐘 秋悦 2009 年 3 月 27 日、現・国立屏東科技大学
(National Pingtung University of Science and Technology)
坂本 和靖 2009 年 5 月 10 日、現・群馬大学
伊藤 高広 2010 年 3 月 2 日、現・神戸大学
西脇 雅人 2010 年 5 月 19 日、現・早稲田大学
内野 泰介 2011 年 3 月 31 日、現・大東文化大学
村尾 徹士 2012 年 4 月 11 日、現・九州大学
ライ・ティフーン・ニョン (Lai Thi Phuong Nhung)
2015 年 6 月 10 日、現・ベトナム
寶劔 久俊 2015 年 10 月 14 日、現・ジェトロ・アジア経済研究所

賞罰： The Oversea Research Student Award, 1982-1984, Committee of Vice Chancellors and Principals of The University of The United Kingdom.
The George Webb Medley Endowment Fund Scholarship in 1985,
University of Oxford.

研究業績リスト

I. 博士論文

“Household Saving and Bequest Behaviour : An Intertemporal Approach with Special Reference to Japan” at University of Oxford, 1988.

II. 出版研究論文

- (1) 「財政赤字の政治経済学」、1993 年 12 月、『金融研究』、第 12 巻 第 4 号、pp. 79-97
- (2) 「家計資産の増加とその要因」、1994 年 1 月、『経済研究』、第 45 巻 第 1 号、pp. 16-30 (高山憲之、有田富美子との共著)
- (3) “Public Policies and Household Saving in Japan” in J.Poterba (ed), *Public Policies and Household Saving*, Chicago: University of Chicago Press and NBER, 1994, pp.133-160 (with Takatoshi Ito).
- (4) “Household Saving Behavior in Japan” in J.Poterba (ed), *International Comparisons of Household Saving*, Chicago: University of Chicago Press and NBER, 1994, pp.125-167 (with Noriyuki Takayama).
- (5) “Consumer Behaviour in Japan under Financial Liberalization and Demographic Change”, in M.Okabe (ed), *The Structure of The Japanese Economy*, London: Macmillan, 1995, pp.135-167 (with Wataru Takahashi).
- (6) 「国際比較研究へのパネルデータ分析の応用—Feldstein-Horioka パラドックスの再検討—」1995 年 3 月、『金融研究』、第 14 巻 第 1 号、pp. 145-160 (藤木裕との共著)
- (7) “Feldstein-Horioka Paradox Revisited” *Bank of Japan Monetary and Economic Studies*, vol.13. no.1 (1995), pp.1-16. (with Hiroshi Fujiki).
- (8) 「物価インデックス債と金融政策—実質金利と期待インフレ率を国債流通市場情報から導く手法とその応用—」1995 年 9 月、『金融研究』、第 14 巻 第 3 号、pp. 121-144
- (9) “Indexd Bonds and Monetary Policy: The Real Interest Rate and The Expected Rate of Inflation”, *Bank of Japan Monetary and Economic Studies*, vol.15. no.1 (1997) 1-25.
- (10) 「コンセプチュアライゼーションが経済に与える影響のメカニズムに関する展望 経済史および経済学からの論点整理」1997 年 12 月、『金融研究』、第 16 巻 第 4 号、pp.83-113.
- (11) 「サプライ・サイド情報を利用した消費に基づく資産価格モデルの推計」1997 年 12 月、『金融研究』、第 16 巻 第 4 号、pp.137-154.(藤木裕との共著)
- (12) “Generational Accounting in Japan” in A.Auerbach, L.Kotlikoff and W.Leibfritz

- (eds) *Generational Accounting around the World*, Chicago: The University of Chicago Press and NBER, 1999, pp.447-469. (with Noriyuki Takayama and Hiroshi Yoshida).
- (13)“Risk Accumulation, Contagion and the Rules for Bank Failure” in Proceedings of a Joint Central Bank Research Conference on *Risk Measurement and Systemic Risk*, Bank of Japan, 1999, pp.105-143. (with Shuji Kobayakawa).
- (14)“Lessons from Generational Accounting in Japan”, *American Economic Review*, 1999, May (with Noriyuki Takayama) pp. 171-175.
- (15)「貨幣の最適な発行単位の選択について」『金融研究』第 18 巻第 5 号、1999 年 12 月、pp.237-247.
- (16)“Household Savings in Japan revisited”, *Research in Economics*, 2001, 55(2), pp.135-153.(with Noriyuki Takayama and Fimiko Arita).
- (17)「物価と景気変動に関する歴史的考察」『金融研究』第 21 巻第 1 号、2002 年 3 月、pp.1-34.
- (18) "Technical Assistance in Fiscal Policy and Tax Administration in Developing Countries: The State of Nature in Bangladesh"(with Tapan K. Sarker) *Asia-Pacific Tax Bulletin*,8(9),pp.278-288.September 2002,International Bureau of Fiscal Documentation
- (19) “Household Saving and Wealth Distribution in Japan” (with Noriyuki Takayama and Fumiko Arita) in Axel Boersch-Supan (ed.) *Life Cycle Savings and Public Policy*, San Diego: Academic Press 2003, Chapter 5, pp.147-201
- (20)「物価と消費の長期変動」、『季刊家計経済研究』第 57 号（2003 年 1 月 15 日刊） pp.29-38
- (21)「パネルデータ分析の新展開」、『経済研究』第 54 巻第 1 号（2003 年 1 月刊） pp. 74-93
- (22)「企業収益と負債—「企業活動基本調査」に基づく日本企業行動のパネル分析—」、花崎正晴・寺西重郎（編）『コーポレート・ガバナンスの経済分析—変革期の日本と金融危機後の東アジア』、2003 年 9 月、東京大学出版会、第 5 章、pp129-157.
- (23) "Reflections on the New Financial System in Japan: Participation Costs, Wealth Distribution, and Security Market-Based Intermediation" (with Megumi Suto and Juro Ternishi), in Joseph P.H. Fan, Masaharu Hanazaki and Juro Teranishi (eds) *Designing Financial Systems in East Asia and Japan*, London: Routledge Curzon, 2004, Chapter 14, pp.334-84.
- (24)「物価連動債の市場価格より得られる情報：米国財務省物価連動債の評価」『金融研究』第 23 巻第 1 号、2004 年 3 月、pp.63-94
- (25) "The Egyptian Tax System and Investment Tax Incentives" (with Mahmond Abdellatif) *Asia-Pacific Tax Bulletin*, 10(3), pp.151-161, March 2004,

International Bureau of Fiscal Documentation

- (26) 「優雅な「パラサイトシングル」像が変容」『女性たちの平成不況』樋口美雄・太田清（編）日本経済新聞社、第 3 章、pp81-115（坂本和靖との共著）、2004 年 4 月
- (27) "The Big Mac Standard: A Statistical Illustration," (with Hiroshi Fujiki) *Economics Bulletin*, 6(13), pp.1-18, September 2, 2004.
- (28) "Information Contents of Inflation Indexed Bond Prices: Evaluation of U.S. Treasury Inflation Protection Securities", Bank of Japan *Monetary and Economic Studies*, vol.22. no.3 (Oct. 2004) pp.115-144.
- (29) 「世代間関係から見た結婚行動」、『経済研究』第 58 巻第 1 号、2007 年 1 月、pp.31-46.（坂本和靖との共著）
- (30) "Marriage Behavior from the Perspective of Intergenerational Relationships", *The Japanese Economy*, vol.34. no.4 (Winter. 2007-8) pp.76-122. (with Kazuyasu Sakamoto)
- (31) "The Pension System in Japan and Retirement Needs of the Japanese Elderly" (with Ngee-Choon, Chia and Albert K.C. Tsui), *Ageing in Southeast and East Asia--Family, Social Protection and Policy Challenges*, edited by Lee Hock Guan, Institute of Southeast Asian Studies, Singapore, 2008, pp.1-21.
- (32) 「家計別物価指数の構築と分析」『金融研究』第 27 巻第 3 号、2008.8、pp.91-150
- (33) 「結婚の地域格差と結婚促進策」『日本経済研究』No.60、2009 年 1 月、pp.79-102.（宮崎毅との共著）
- (34) "How to Make the Japanese Public Pension System Reliable and Workable," (with Noriyuki Takayama), *Asian Economic Policy Review*, 4(1), pp.97-116, 2009.
- (35) 「不完全資本市場下での生産関数の推定について」、『経済研究』第 60 巻第 3 号、2009 年 7 月、pp.193-204（西脇雅人・村尾徹士との共著）
- (36) 「電子マネーが貨幣需要に与える影響について：時系列分析」、『フィナンシャルレビュー』平成 21 年（2009 年）第 5 号（通巻 97 号）、2009 年 12 月、pp.129-152.（大森真人・西田健太との共著）
- (37) "Marriage Promotion Policies and Regional Differences in Marriage," *The Japanese Economy*, Vol.38, No.1, Spring 2011, pp.3-39. (with Takeshi Miyazaki)
- (38) 「家計の資産選択行動における学歴効果 —逐次クロスセクションデータによる実証分析—」、『金融経済研究』第 33 号、日本金融学会編、pp.24-45、2011 年 10 月（内野泰助との共著）
- (39) 「所得不平等と税の所得再分配機能の評価 —1984-2004 年—」、『経済研究』第 63 巻第 1 号、pp.56-69、2012 年 1 月（宮崎毅との共著）

- (40) 「東日本大震災 1 がもたらした精神的コスト — パネルデータを用いた自然災害の幸福度・健康感への影響の検討—」、『日本の家計行動のダイナミズム VIII 東日本大震災が家計に与えた影響』瀬古美喜・照山博司・山本勲・樋口美雄・慶應—京大連携グローバル COE 編、慶應義塾大学出版会、pp.233-254、2012 年 3 月 31 日（平井滋との共著）
- (41) 『経済学の巨人 危機と闘う』、「第 13 章 ジョン・ロー」（日本経済新聞社（編））、2012 年 12 月 3 日刊、日本経済新聞社
- (42) 『若年者の雇用問題を考える 就職支援・政策対応はどうあるべきか』、「第 3 章 所得分配と世代から見た若年雇用問題」、樋口美雄・財務省財務総合政策研究所（編著）、2013 年 9 月 14 日刊、日本経済評論社、pp.83-114.
- (43) 「パネルデータの分析手法の展望」、『季刊家計経済研究』No.100、pp.60-69、2013 Autumn
- (44) Comment on "Who Faces Higher Prices? An Empirical Analysis Based on Japanese Homescan Data," *Asian Economic Policy Review*, Vol.9, No.1, January 2014, pp.118-119.
- (45) 「第 8 章 原子力発電所事故から学ぶ金融危機への対処方法」、齊藤誠・野田博（編）『非常時対応の社会科学 法学と経済学の共同の試み』、有斐閣、pp.188-213、2016 年 3 月 12 日刊
- (46) Comment on "Asian Participation and Performance at the Olympic Games" *Asian Economic Policy Review*, Vol.11, pp.91-92, 2016

III. 未出版研究論文

- (1) 「インデックス債の意義とその発行可能性」、1993 年度理論・計量経済学会報告論文、日本銀行金融研究所
- (2) “Tax Incentives and Personal Saving in Japan”, presented at the NBER/OECD joint meeting at Paris, 18-19 May, 1994 ,1994 年度理論・計量経済学会報告論文 (with Takatoshi Ito).
- (3) “Measuring Real Interest Rate Directly”, 1995 年度理論・計量経済学会報告論文 (with Hiroshi Fujiki).
- (4) 「経済成長下での実質金利の測定」、ファイナンス・フォーラム第 10 回研究会 (1996 年 2 月 9 日)発表 (藤木裕との共著)
- (5) 「わが国の国際貿易の実態とその評価—パネルデータによる貿易構造の分析—」、日本銀行金融研究所、1996 年 8 月
- (6) “Quantity Theory of Money, Central Bank Independence, and Inflation -A Panel Data Approach-” (with Hiroshi Fujiki), 1997.
- (7) 「価格・数量調整過程の再検討 マクロ・産業別パネルデータ分析」日本銀行 金融研究所ディスカッション・ペーパー 98-J-5.(中村恒との共著)
- (8) 「電子商取引の現状と課題：新しい仲介業の誕生と信頼形成」日本銀行金

融研究所ディスカッション・ペーパー 2000-J-13. (大谷聡と川本卓司との共著)

- (9) "Household Wealth in Japan" (with Noriyuki Takayama), a paper prepared for National Research Council Panel on "New Data for an Aging World", National Academy of Science (USA), August 2000.
- (10) "An Econometric Analysis of Cohort Data from Household Savings in Japan", presented in Far Eastern Meeting of Econometric Society, July 2001 in Kobe, Japan.
- (11) "Corporate Finance and Market Competition: Evidence for the Basic Survey of Japanese Business Structure and Activities in the late 1990s", April 2001
- (12) 「結婚の意思決定に関するパネル分析」 (坂本和靖との共著) PIE Discussion Paper, No. 109.
- (13) 「結婚の経済学」、2002 年 4 月、一橋大学経済研究所 PIE Discussion Paper, No.84.
- (14) 「企業収益と財務——『企業活動基本調査』に基づく日本企業行動のパネル分析——」、2003 年 9 月 (日本統計協会助成研究報告書)
- (15) 「通貨単位の選択が商取引に与える影響:イラク新通貨制度の政策評価」、2004 年 8 月 25 日
- (16) "The Pension System in Japan and Retirement Needs of the Japanese Elderly" (with Ngee-Choon, Chia and Albert K.C. Tsui), May 2005.
- (17) "Dynamic Consumption Behavior: Evidence from Japanese Household Panel Data", 一橋大学 21 世紀 COE プログラム「社会科学の統計分析拠点構築」ディスカッション・ペーパーNo. 184, 2006 年 8 月
- (18) 「国債流通市場における情報に基づく物価連動債の評価」、日本相互証券株式会社、2006 年 12 月 20 日
- (19) 「日本における課税所得の弾力性と最適所得税率:全国消費実態調査の個票データによる分析」、Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series 150 (August 2010) (宮崎毅との共著)
- (20) 「所得不平等と税の所得再分配機能の評価:1984-2004 年」、Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series 230 (March 2012) (宮崎毅との共著)
- (21) 「消費税の再検討:日本における消費税改革の行方」、Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series 274 (January 2013)
- (22) 「子供の成長パターン:21 世紀出生児縦断調査に基づく測定」、Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series 278 (January 2013)
- (22) "Is Bitcoin the Only Cryptocurrency in the Town? Economics of Cryptocurrency and Friedrich A. Hayek," Discussion Paper Series A No. 602 (February 2014) (co-authored by Mitsuru Iwamura and Tsutomu Matsumoto)
- (23) "Redistributive Effects of Income Tax Rates and Tax Base 1984-2009: Evidence

from Japanese Tax Reforms," Discussion Paper Series A No. 610 (June 2014)
(co-authored by Takeshi Miyazaki)

- (24) "Can We Stabilize the Price of a Cryptocurrency?: Understanding the Design of Bitcoin and Its Potential to Compete with Central Bank Money," Discussion Paper Series A No. 617 (November 2014) (co-authored by Mitsuru Iwamura, Tsutomu Matsumoto and Kenji Saito)

IV. 著書・編書・辞書等

- (1) 「金融政策と財政政策」(項目「政策割当理論」、「ポリシーミックスの歴史」、「ポリシーミックスの現代的評価」)『金融辞典』東洋経済新報社、1994年2月、pp.249-253.
- (2) 「第2章 変わる家計の金融行動」、『実践ゼミナール 日本の金融』鈴木淑夫・岡部光明(編著)、東洋経済新報社、1996年、pp.31-65.
- (3) 「クルーグマンの複雑系アプローチ」、『複雑系の経済学 入門と実践』ダイヤモンド社、1997年、pp.159-212.
- (4) 「高齢化社会の世代会計」『年金制度改革の論点』(清家篤、岩村正彦(編))、2000年3月刊、社会経済生産性本部出版
- (5) 「アジアにおけるマイクロデータ公開の現状」『講座 ミクロ統計分析 第1巻』(松田芳郎、濱砂敬郎、森博美(編))、2000年8月刊、日本評論社
- (6) 『テキストブック 経済統計』東洋経済新報社、2000年(中島隆信、新保一成、木村福成との共著)
- (7) 『家計行動のパネル統計——「消費生活に関するパネル調査」平成5年度(1993)ー平成9年度(1997)』(統計資料シリーズ 54)、一橋大学経済研究所附属日本経済統計情報センター、2002年
- (8) 『パネルデータ分析』、一橋大学経済研究叢書 53、岩波書店、2005年2月
- (9) 『ミクロ計量経済学入門』、日本評論社、2009年2月
- (10) 『応用ミクロ計量経済学』、(北村行伸(編著))、日本評論社、2010年2月
- (11) 『金融業と人口オーナス経済 高齢化社会における金融・経済のあり方』、(翁邦雄・北村行伸(編著))、日本評論社、2011年5月
- (12) 『税制改革のミクロ実証分析——家計経済からみた所得税・消費税』、一橋大学経済研究叢書 61、2013年2月28日刊、岩波書店(宮崎毅との共著)
- (13) 『応用ミクロ計量経済学 II』、(北村行伸(編著))、2014年3月20日刊、日本評論社

V. 翻訳

- (1) ポール・クルーグマン著、『脱「国境」の経済学』、東洋経済新報社、1994年(原題『Geography and Trade』, The MIT Press, 1991)(高橋亘、妹尾美起

との共訳)

- (2) ポール・クルーグマン著、『経済政策を売り歩く人々』、日本経済新聞社、1995年（原題『Peddling Prosperity』, W.W.Norton, 1994）（伊藤隆敏監訳、妹尾美起との共訳）
- (3) マティアス・ドゥワトリポン、ジャン・ティロール著、『銀行規制の新潮流』、東洋経済新報社、1996年（原題『The Prudential Regulation of Banks』, The MIT Press, 1994）（渡辺努との共訳）
- (4) ポール・クルーグマン著、『自己組織化の経済学』、東洋経済新報社、1997年刊（原題『The Self-Organizing Economy』, Blackwell Publishers, 1996）（妹尾美起との共訳）
- (5) ポール・クルーグマン著、「ニュー・エコノミー論への警鐘」、ダイヤモンド・ハーバード・ビジネス 1997年11月号、pp.5-13.
- (6) ポール・クルーグマン著、『資本主義経済の幻想』、ダイヤモンド社、1998年（Collected Essays of Paul Krugman Appeared in *Foreign Affairs*）（監訳 北村行伸）
- (7) アビナッシュ・ディキシット著、『経済政策の政治経済学』、日本経済新聞社、2000年刊（原題『The Making of Economic Policy』, The MIT Press, 1996）
- (8) トーマス・カーギル、マイケル・ハッチソン、伊藤隆敏著、『金融政策の政治経済学』（上・下）、東洋経済新報社、2002年（原題『*The Political Economy of Japanese Monetary Policy*』, The MIT Press, 1997 and 『*Financial Policy and Central Banking in Japan*』, The MIT Press, 2000）（上巻：後藤康雄、妹尾美起他（訳）、下巻：妹尾美起、谷本和代（訳））
- (9) ジャグディッシュ・バグワティ著、『自由貿易への道—グローバル化時代の貿易システムを求めて』、ダイヤモンド社、2004年（原題『*Free Trade Today*』, Princeton University Press, 2002）（妹尾美起との共訳）
- (10) ジャン・ティロール著、『国際金融危機の経済学』、東洋経済新報社、2007年。（原題『*Financial Crises, Liquidity, and the International Monetary System*』, Princeton University Press, 2002）
- (11) ポール・クルーグマン著、『クルーグマンの視座—『ハーバード・ビジネス・レビュー』論考集』、ダイヤモンド社
- (12) ポール・クルーグマン著、『経済政策を売り歩く人々—エコノミストのセンスとナンセンス』、ちくま学芸文庫、2009年3月刊（原題『*Peddling Prosperity*』, W.W.Norton, 1994）（伊藤隆敏監訳、妹尾美起との共訳）
- (13) ポール・クルーグマン著、『自己組織化の経済学—経済秩序はいかに創発するか』ちくま学芸文庫、2009年11月刊（原題『*The Self-Organizing Economy*』, Wiley-Blackwell, 1996）（妹尾美起との共訳）
- (14) ウォルター・バジヨット著、久保恵美子訳『ロンバード街—金融市場の解

説』日経 BP 社、2011 年 1 月（解説のみ）

VI. 雑誌・報告書論文等

- (1) 「消費者信用供与額は耐久消費と強い相関：消費者行動分析結果から」『月刊消費者信用』、1994 年 6 月号、pp.14-17
- (2) 「産業立地と脱国境の考え方」『産業年報』（国民経済研究協会）1995 年、no.19、 pp.62-69
- (3) 「金利自由化後の預金者の金利感応度」『月刊 金融ジャーナル』、1995 年 10 月号、pp.26-31
- (4) 「高齢化社会には大胆な発想と細心の政策を」『にちぎんクォーター』、1996 年冬季号、No.44, pp.9-11.
- (5) 「だれが高齢化社会における年金制度を支えるのか」『財界 臨時増刊 財界クォーター』、1997 年 3 月 20 日号、pp.58-63.
- (6) 「座談会 求められる年金改革と自己責任原則」『にちぎんクォーター』、1998 年秋季号、No.51, pp.3-9.
- (7) 「経済学の基礎研究とはなにか」 *Researcher's Eye* 『三田評論』、1999 年 7 月号、p.31.
- (8) 「ミクロ統計データの分析：全国消費実態調査」『アジア情報学のフロンティア』、全国文献・情報センター人文社会科学学術情報セミナーシリーズ、No.10. 2000 年 11 月
- (9) 「『企業活動基本調査』より見た 1990 年代後半の日本企業の行動とコーポレート・ガバナンス」『我が国企業における統治構造の変化と生産性の関係に関する調査研究』、第 6 章、機械工業経済研究報告書 H12 委-2、（財団法人）機械振興協会経済研究所、2001 年 3 月
- (10) 「結婚の意思決定に関するパネル分析」『少子化に関する家族・労働政策の影響と少子化の見通しに関する研究』第 I 部第 5 章、厚生科学研究政策科学推進研究事業（課題番号 H 1 2 - 政策 - 0 0 9）平成 1 2 年度報告書、平成 1 3 年 3 月
- (11) ワークショップ わが国における財政と中央銀行の活動－歴史的視点から－「大森論文「明治初期の財政構造改革・累積債務処理とその影響」に対するコメント」『金融研究』第 20 巻第 3 号、2001.9、pp.167-170
- (12) 「結婚の意思決定に関するパネル分析」『人文科学情報と I T』全国文献・情報センター人文社会科学学術情報セミナーシリーズ NO.11、2001 年 11 月、pp.125-138. (坂本和靖との共著)
- (13) 「経済援助の経済理論と財政執行問題への応用」『開発途上国における財政と援助政策 2001 年度』慶応義塾大学商学部 財務省委嘱調査（序章）、pp.3-13.
- (14) 「ユーロ圏へのわが国企業の展開」2002 年度版海外進出企業総覧 東洋経

- 済新報社、2002 年 3 月、pp.25-31.
- (15) 「市場競争と企業業績：『企業活動基本調査』より見た 1990 年代後半の日本企業の行動」『我が国企業における統治構造の変化と生産性の関係に関する調査研究(2)』、第 5 章、機械工業経済研究報告書 H13 委-14、(財団法人) 機械振興協会経済研究所、2002 年 3 月
 - (16) 「企業活動における法人税負担の実態」『わが国企業における統治構造の変化と生産性の関係に関する調査研究(3)』1 章、機械工業経済研究報告書 H14-1-1A (財団法人) 機械振興協会経済研究所 pp.1-38. 2003 年 3 月
 - (17) 「ミクロ計量経済学とは何か」『経済セミナー』2003 年 9 月号、PP.31-35
 - (18) 「電子マネーの普及と決済手段の選択」、『電子マネーの発展と金融・経済システム』金融調査研究会報告(34)、金融調査研究会、2005 年 7 月、第 2 章(pp.21-37).
 - (19) 「ミクロ計量経済学の考え方」『経済セミナー』2006 年 4 月号 PP.82-88.
 - (20) 「ミクロ統計データの調査・開示・利用・保存」『経済セミナー』2006 年 5 月号 PP.86-92
 - (21) 「ミクロ統計データの特性と分析手法」『経済セミナー』2006 年 6 月号、PP.92-100
 - (22) 「パネルデータの意義とその活用」『日本労働研究雑誌』、2006 年 6 月、No.551, PP.6-16
 - (23) 「労働供給の賃金弾性値の推定」『経済セミナー』2006 年 7 月号、PP.77-83
 - (24) 「出産の意思決定モデルの推定」『経済セミナー』2006 年 8 月号、PP.88-97
 - (25) 「個人家計別物価指数の構築」『経済セミナー』2006 年 9 月号、PP.108-121
 - (26) 「21 世紀成年者縦断調査に基づく子供の成長パターンの測定」、厚生労働科学研究費補助金・統計情報高度利用総合研究事業平成 18 年度報告書『パネル調査(縦断調査)に関する総合的分析システムの開発研究』、2007 年 3 月、pp.101-123.
 - (27) 「多項選択モデル」『経済セミナー』2007 年 4 月号、PP.91-97
 - (28) 「順序選択モデル」『経済セミナー』2007 年 5 月号、PP.76-83
 - (29) 「トービット・モデル」『経済セミナー』2007 年 6 月号、PP.88-94
 - (30) 「カウントデータ分析」『経済セミナー』2007 年 7 月号、PP.94-100
 - (31) 「政策評価分析の手法」『経済セミナー』2007 年 8 月号、PP.24-27
 - (32) 「パネルデータ分析」『ESP』2007 年 10 月号、PP.99-105
 - (33) 「求職活動に関する業務統計とその統計分析」、『マッチング効率性についての実験的研究』JILPT 資料シリーズ No.40、2008 年 5 月、第 II 部第 1 章.
 - (34) 「21 世紀出生児縦断調査に基づく子供の成長パターンの測定(III)」、厚生労働科学研究費補助金・統計情報総合研究事業 平成 20 年度 総括研

- 究報告書『パネル調査（縦断調査）に関する統合的高度統計分析システムの開発研究』、2009 年 3 月、pp.127-151.
- (35) 「今の状況は大恐慌より 1873 年世界不況に似ている？」 「大恐慌からどうやって脱出したのか？」 『週刊ダイヤモンド』特大号、2009 年 4 月 4 日号、PP.70-72
- (36) 「繰り返される経済危機 『産業革命』との関連深く」、『経済教室』日本経済新聞 2009 年 7 月 13 日
- (37) 「21 世紀出生児縦断調査における脱落サンプルのもたらす影響の評価」、厚生労働科学研究費補助金・統計情報総合研究事業 平成 20～21 年度総合研究報告書『パネル調査（縦断調査）に関する統合的高度統計分析システムの開発研究』、2010 年 3 月、pp.27-56.
- (38) 「国債の経済学再考 —物価連動債に関する市場の動向と政策対応を中心に—」、『証券アナリストジャーナル』2010 年 3 月 Vol.48 No.3、pp.28-37.
- (39) “Japan’s response to its ageing crisis,” *East Asia Forum*, April 6, 2010.
- (40) 「電子マネーと現金決済の選択」、『金融』、全国銀行協会、2010 年 5 月号、pp.8-17.
- (41) 「国債管理の歴史と教訓」、『やさしい経済学』、日本経済新聞、2010 年 10 月 4 日～14 日。
- (42) 「ソブリンリスクの歴史と教訓 —ユーロ問題への視点—」、『証券アナリストジャーナル』2011 年 1 月 Vol.49 No.1、pp.28-37.
- (43) 「我が国の国債管理政策の現状と課題」、『個人金融』Vol.6, No.1, May 2011、pp.2-13.
- (44) 「パネル調査（縦断調査）に関する統合的分析システムの応用研究」、厚生労働科学研究費補助金・統計情報総合研究事業 平成 22 年度 総括研究報告書『パネル調査（縦断調査）に関する統合的分析システムの応用研究』、2011 年 3 月、pp.13-14.
- (45) 「パネル調査（縦断調査）に関する統合的分析システムの応用研究」、厚生労働科学研究費補助金・統計情報総合研究事業 平成 22 年度 総括研究報告書『パネル調査（縦断調査）に関する統合的分析システムの応用研究』、2011 年 3 月、pp.13-14.
- (46) 「財政危機から金融危機への連鎖はいかに阻止できるか」 『経済セミナー』2012 年 2・3 月号, PP.40-45.
- (47) 「危機・先人に学ぶ：ジョン・ロー」、『やさしい経済学』、日本経済新聞、2012 年 3 月 5 日～14 日。
- (48) “Japan’s consumption tax and electoral reform,” *East Asia Forum*, November 9, 2012.
- (49) 「縦断調査の厚生労働政策への応用に向けて」、『厚生指標』、Vol.60, No.2, 2013 年 2 月, pp.38-49.

- (50) 「社会科学が真の科学となる実証研究の推進のために」、『統計』、第 64 巻 第 4 号、2013 年 4 月 1 日、pp.10-16. (木下千大との共著)
- (51) 「経済政策における歴史の教訓」『経済セミナー』2013 年 6・7 月号 (原稿) PP.44-49
- (52) “Abe must raise taxes to save Abenomics”, *East Asia Forum*, December 10, 2014.
- (53) 「軽減税率と経済活動」、『税務弘報』2016 年 4 月号、Vol.64, No. 4, April, pp.2-6。
- (54) 「ビッグデータと経済分析: Economics 3.0?」、『学際』"ZERO"号、May 2015、pp.8-17
- (55) “Will structural reforms make it to the G7 agenda?”, *East Asia Forum*, 14 May 2016.

VII. 書評

- (1) 『ビッグバン後の日本経済』田中直毅 (著)、日本経済新聞社、1997 年刊行、「今週の一冊」、『週刊ダイヤモンド』平成 10 年 2 月 7 日号
- (2) 『貨幣の誕生 皇朝銭の博物誌』三上隆三 (著)、朝日新聞社、1998 年刊行、「今週の一冊」、『週刊ダイヤモンド』平成 10 年 3 月 14 日号
- (3) 『日本人の消費行動』牧厚志 (著)、ちくま新書、1998 年刊行、「今週の一冊」、『週刊ダイヤモンド』平成 10 年 4 月 18 日号
- (4) 『節約と浪費』ポール・ジョンソン (著)、慶應義塾大学出版会、1997 年刊行、「今週の一冊」、『週刊ダイヤモンド』平成 10 年 6 月 6 日号
- (5) 『金融市場と中央銀行』藤木裕 (著)、東洋経済新報社、1998 年刊行、「今週の一冊」、『週刊ダイヤモンド』平成 10 年 7 月 18 日号
- (6) 『コーポレート・ガバナンス革命』ダイヤモンド・ハーバード・ビジネス編集部 (編)、ダイヤモンド社、1998 年刊行、「今週の一冊」、『週刊ダイヤモンド』平成 10 年 9 月 5 日号
- (7) 『学者人生のモデル』ハーバート・A・サイモン (著)、岩波書店、1998 年刊行、「今週の一冊」、『週刊ダイヤモンド』平成 10 年 10 月 24 日号
- (8) 『数の悪魔』ハンス・マグヌス・エンツェンベルガー (著)、晶文社、1998 年刊行、「今週の一冊」、『週刊ダイヤモンド』平成 10 年 12 月 12 日号
- (9) 『暦と数の話』スティーブン・J・グールド (著)、早川書房、1999 年刊行、「今週の一冊」、『週刊ダイヤモンド』平成 11 年 1 月 30 日号
- (10) 『ムハマド・ユヌス自伝』ムハマド・ユヌス、アラン・ジョリ (著)、早川書房、1998 年刊行、「今週の一冊」、『週刊ダイヤモンド』平成 11 年 4 月 3 日号
- (11) 『情報革命の構図』篠崎彰彦 (著)、東洋経済新報社、1999 年刊行、「今週の一冊」、『週刊ダイヤモンド』平成 11 年 6 月 5 日号
- (12) 『コーポレート・ガバナンス入門』深尾光洋 (著)、ちくま新書、1999 年

- 刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 11 年 7 月 31 日号.
- (13)『博士と狂人 世界最高の辞書 OED の誕生秘話』サイモン・ウィンチェスター (著)、早川書房、1999 年刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 11 年 10 月 16 日号.
- (14)『予測ビジネスで儲ける人びと』ウィリアム・シャーデン (著)、ダイヤモンド社、1999 年刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 11 年 12 月 4 日号.
- (15)『「やわらかな経済学」で日本経済の謎を解く』西村清彦 (著)、日本経済新聞社、1999 年刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 12 年 1 月 22 日号.
- (16)『「人間喜劇」セレクション 第 7 巻 金融小説名篇集』オノレ・ド・バルザック (著)、藤原書店、1999 年刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 12 年 3 月 11 日号.
- (17)『銀行収益革命』川本裕子 (著)、東洋経済新報社、2000 年刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 12 年 5 月 20 日号.
- (18)『ミクロ経済学』梶井厚志、松井彰彦 (著)、日本評論社、2000 年刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 12 年 7 月 22 日号.
- (19)『辻邦生が見た 20 世紀末』辻邦生 (著)、信濃毎日新聞社、2000 年刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 12 年 10 月 7 日号.
- (20)『パラドックス!』林晋 (編著)、日本評論社、2000 年刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 12 年 12 月 9 日号.
- (21)『経済政策の政治経済学』アビナッシュ・ディキシット (著) 北村行伸 (訳)、日本経済新聞社、2000 年刊、「訳者 行間を語る」『日経金融新聞』、平成 13 年 2 月 28 日
- (22)『根拠なき熱狂』ロバート・J・シラー (著)、ダイヤモンド社、2001 年刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 13 年 3 月 3 日号.
- (23)『論争・学力崩壊』「中央公論」編集部・中井浩一 (編)、中公新書ラクレ、2001 年刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 13 年 5 月 19 日号.
- (24)『「独立行政法人」とは何か』宮脇淳・梶川幹夫 (著)、PHP 研究所、2001 年 5 月 23 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 13 年 8 月 4 日号.
- (25)The Political Economy of Japanese Monetary Policy 「日本の金融政策の政治経済学」』トーマス・F・カーギル、マイケル・ハッチソン、伊藤隆敏 (著)、The MIT Press 1997 年刊、ii+pp.236、『経済研究』第 52 巻 3 号 2001 年 7 月
- (26)『虹の解体』リチャード・ドーキンス (著)、早川書房、2001 年 7 月 31 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 13 年 10 月 27 日号.

- (27) 『暴走する世界』 アンソニー・ギデンズ (著)、佐和隆光 (訳)、ダイヤモンド社、2001 年 10 月 4 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 14 年 1 月 12 日号.
- (28) 『異星人伝説 20 世紀を創ったハンガリー人』マルクス・ジョルジュ (著)、盛田常夫 (訳)、日本評論社、2001 年 12 月 15 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 14 年 3 月 16 日号.
- (29) 『江戸と大阪 近代日本の都市起源』斎藤修 (著)、NTT 出版、2002 年 3 月 6 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 14 年 5 月 25 日号.
- (30) 『起業家福沢諭吉の生涯』玉置紀夫 (著)、有斐閣、2002 年 4 月 25 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 14 年 7 月 27 日号.
- (31) 『ビジネスの倫理学』梅津光弘 (著)、丸善、2002 年 6 月 30 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 14 年 10 月 12 日号.
- (32) 『入門 知的資産の価値評価』山本大輔、森智世 (著)、東洋経済新報社、2002 年 9 月 26 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 14 年 12 月 28 日号.
- (33) 『私の仕事国際難民高等弁務官の十年と平和の構築』緒方貞子 (著)、草思社、2002 年、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 15 年 2 月 22 日号.
- (34) 『永遠平和のために』イマヌエル・カント著、宇都宮芳明 (訳)、岩波文庫 1985 年 1 月 16 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 15 年 5 月 28 日号.
- (35) 『アイデンティティに先行する理性』アマルティア・セン (著)、細見和志 (訳)、関西学院大学出版会、2003 年 3 月 31 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 15 年 7 月 14 日号.
- (36) 『ねじとねじ回し この千年で最高の発明をめぐる物語』ヴィトルト・リプチンスキ (著)、春日井晶子 (訳)、早川書房、2003 年 7 月 15 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 15 年 9 月 22 日号.
- (37) 『国家』(上・下) プラトン (著)、藤沢令夫 (訳) 岩波文庫 1979 年 4 月 16 日刊「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 15 年 10 月 11 日号.
- (38) 経済学から見た会社『ダイヤモンド・ハーバード・ビジネス』 Books in Review 2003 年 11 月号
- (39) 『ドレフュス事件のなかの科学』菅野賢治 (著)、青土社、2002 年 11 月 8 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 15 年 10 月 27 日号.
- (40) 『ソクラテスの弁明』プラトン (著)、久保勉 (訳)、岩波文庫 1964 年 8 月 16 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 15 年 12 月 22 日号.
- (41) 『新しい選挙制度』松本保美 (著)、木鐸社、2003 年 9 月 30 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 16 年 1 月 10 日号.
- (42) 『政治学』アリストテレス (著)、牛田徳子 (訳)、京都大学学術出版会

- 2001 年 2 月 15 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 16 年 3 月 26 日号.
- (43) 『負け犬の遠吠え』酒井順子（著）、講談社、2003 年 10 月 27 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 16 年 3 月 13 日号.
- (44) 『政治学』アリストテレス（著）、牛田徳子（訳）、京都大学学術出版会 2001 年 2 月 15 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 16 年 3 月 26 日号.
- (45) 『変わる家族 変わる食卓 真実に破壊されるマーケティング常識』岩村暢子（著）、勁草書房、2003 年 4 月 16 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 16 年 5 月 10 日号.
- (46) 『トルストイ民話集 イワンのばか』トルストイ（著）、中村白葉（訳）、岩波文庫 1932 年 9 月 25 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 16 年 6 月 21 日号.
- (47) 『マネー・ボール 奇跡のチームをつくった男』マイケル・ルイス（著）、中山宥（訳）、ランダムハウス講談社、2004 年 3 月 17 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 16 年 7 月 20 日号.
- (48) 『イソップ寓話集』イソップ（著）、山本光雄（訳）、岩波文庫 1942 年 2 月 25 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 16 年 9 月 21 日号.
- (49) 『広い宇宙に地球人しか見当たらない 50 の理由：フェルミのパラドクス』スティーヴン・ウェブ（著）、松浦俊輔（訳）、青土社、2004 年 7 月 8 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 16 年 10 月 4 日号.
- (50) 『高齢者就業の経済学』清家篤・山田篤裕（著）、日本経済新聞社、2004 年 10 月 20 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 16 年 12 月 6 日号.
- (51) 『古い医術について 他八篇』ヒポクラテス（著）、小山政恭（訳）、岩波文庫 1963 年 7 月 16 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 16 年 12 月 13 日号.
- (52) 『私は、産みたい』野田聖子（著）、新潮社、2004 年 12 月 5 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 17 年 2 月 7 日号.
- (53) 『自由論』アイザイア・バーリン（著）、小川晃一、小池ケイ、福田歆一、生松敬三（訳）、みすず書房 1971 年 12 月 15 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 17 年 3 月 14 日号.
- (54) 『罪と罰、だが償いはどこに？』中嶋博行（著）、新潮社、2004 年 9 月 15 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 17 年 3 月 28 日号.
- (55) 『期待と不確実性の経済学 デフレ経済のマイクロ実証分析』清水谷諭（著）、日本経済新聞社、2005 年 2 月 22 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 17 年 5 月 30 日号.
- (56) 『バートン版 千一夜物語』全 11 巻 リチャード・F・バートン（編）、大

- 場正史（訳）、筑摩書房 2004 年 8 月 10 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 17 年 6 月 13 日号.
- (57) 『地図に仕える者たち』アンドレア・バレット（著）、田中敦子（訳）、DHC、2004 年 9 月 17 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 17 年 7 月 19 日号.
- (58) 『実利論——古代インドの帝王学——』上・下巻 カウティリヤ（著）、上村勝彦（訳）、岩波書店 1984 年 9 月 17 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 17 年 9 月 5 日号.
- (59) 『日本の不平等 格差社会の幻想と未来』大竹文雄（著）、日本経済新聞社、2005 年 5 月 23 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 17 年 9 月 12 日号.
- (60) 『素数ゼミの謎』吉村仁（著）、文藝春秋社、2005 年 7 月 15 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 17 年 10 月 31 日号.
- (61) 『犯罪と刑罰』ベッカリーア（著）、風早八十二・五十嵐二葉（訳）、岩波書店 1938 年 11 月 1 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 17 年 11 月 21 日号.
- (62) 『＜現代家族＞の誕生：幻想系家族論の死』岩村暢子（著）、勁草書房、2005 年 6 月 27 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 17 年 12 月 19 日号.
- (63) 『道徳感情論（上・下）』アダム・スミス（著）、水田洋（訳）、岩波書店 2003 年 2 月 14 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 18 年 2 月 13 日号.
- (64) 『郵政攻防』山脇岳志（著）、朝日新聞社、2005 年 12 月 30 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 18 年 2 月 20 日号.
- (65) 『コーヒー、カカオ、コメ、綿花、コショウの暗黒物語』ジャン＝ピエール・ボリス（著）、林昌宏（訳）作品社、2005 年 11 月 10 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 18 年 4 月 10 日号.
- (66) 『日本の下層社会』横山源之助（著）、岩波書店 1949 年 5 月 30 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 18 年 5 月 8 日号.
- (67) 『障害者の経済学』（中島隆信 著）、東洋経済新報社、2006 年 2 月 23 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 18 年 6 月 5 日号.
- (68) 『ヴェニス商人』（ウィリアム・シェイクスピア 著）、白水社 1983 年 10 月 10 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 18 年 7 月 18 日号.
- (69) 『冠婚葬祭のひみつ』（斎藤美奈子 著）、岩波書店、2006 年 5 月 12 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 18 年 8 月 7/14 日合併号.
- (70) 『日本の経済システム改革』（鶴光太郎 著）、日本経済新聞社、2006 年 7 月 18 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 18 年 10 月 2 日号.

- (71) 『権利のための闘争』 (ルドルフ・フォン・イエーリング 著、小林孝輔・広沢民生 訳) 日本評論社 1978 年 11 月 20 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 18 年 10 月 16 日号.
- (72) 『わたしを離さないで』 (カズオ・イシグロ 著、土屋政雄 訳)、早川書房、2006 年 4 月 30 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 18 年 11 月 27 日号.
- (73) 『組織の限界』 (ケネス・J・アロー 著、村上泰亮 訳) 岩波書店 1999 年 11 月 5 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 1 月 9 日号.
- (74) 『世界秩序の崩壊』 (ジョージ・ソロス 著、越智道雄 訳)、ランダムハウス講談社、2006 年 10 月 11 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 1 月 22 日号.
- (75) 『遠距離交際と近所づきあいー成功する組織ネットワーク戦略』 (西口敏宏 著)、NTT出版、2007 年 1 月 30 日刊、「今週の一冊」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 3 月 17 日号.
- (76) 『学問の方法』 (ヴィーコ 著、上村忠男・佐々木力 訳) 岩波書店 1987 年 7 月 16 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 3 月 26 日号.
- (77) 『ファミリービジネス永続の戦略ー同族経営だから成功するー』 (デニス・ケニヨン、ジョン・L・ウォード 編著、秋葉洋子 訳 富樫直記 監訳)、ダイヤモンド社、2007 年 1 月 26 日刊、「今週の逸冊」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 5 月 7 日号.
- (78) 『陽気なドン・カミロ』 (ジョヴァンニ・グァレスキ 著、岡田眞吉 訳)、文藝春秋社 1953 年 9 月 20 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 6 月 18 日号.
- (79) 『日本国の原則ー自由と民主主義を問い直すー』 (原田 泰 著)、日本経済新聞社、2007 年 4 月 20 日刊、「今週の逸冊」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 6 月 25 日号.
- (80) 『キャッチ=22』 (上・下 2 巻) (ジョーゼフ・ヘラー 著、飛田茂雄 訳) 早川書房、1977 年 3 月 15 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 9 月 1 日号.
- (81) 『神は妄想である 宗教との決別』 (リチャード・ドーキンス 著、垂水雄二 訳)、早川書房、2007 年 5 月 25 日刊、「今週の逸冊」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 8 月 20 日号.
- (82) 『ローマ帝国衰亡史』 (全 10 巻) (エドワード・ギボン 著、中野好夫・朱牟田夏雄・中野好之 訳) ちくま学芸文庫 1995 年 12 月 7 日-1996 年 9 月 10 日刊、「名著再読」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 11 月 26 日号.
- (83) 『電子マネー最終戦争』 (岩田昭男 著)、洋泉社、2007 年 4 月 18 日刊、「今週の逸冊」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 10 月 8 日号.

- (84) 『波乱の時代（上・下）――わが半生と FRB――』（アラン・グリーンズパン 著、山岡洋一・高遠裕子 訳）、日本経済新聞社、2007 年 11 月 12 日刊、「今週の逸冊」『週刊ダイヤモンド』平成 19 年 12 月 3 日号。
- (85) 『普通の家族がいちばん怖い 徹底調査！破滅する日本の食卓』（岩村暢子 著）、新潮新聞社、2007 年 10 月 25 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 20 年 1 月 12 日号。
- (86) 『最強の経済学者 ミルトン・フリードマン』（ラニー・エーベンシュタイン 著、大野一 訳）、日経 BP 社、2008 年 1 月 28 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 20 年 2 月 18 日号。
- (87) 『人類の会議（上・下）』（ポール・ケネディ 著、古賀林幸 訳）、日本経済新聞社、2007 年 10 月 25 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 20 年 3 月 24 日号。
- (88) 『現代の金融政策：理論と実際』（白川方明 著）、日本経済新聞社、2008 年 3 月 17 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 20 年 5 月 3/10 日合併号。
- (89) 『知的財産権のグローバル化――医薬品アクセスと TRIPS 協定』山根裕子（著）、岩波書店、2008 年 3 月 6 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 20 年 6 月 16 日号。
- (90) 『選挙のパラドックス――なぜあの人が選ばれるのか？』ウィリアム・パウンドストーン（著）篠儀直子（訳）、青土社、2008 年 7 月 2 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 20 年 7 月 21 日号。
- (91) 『議論好きなインド人――対話と異端の歴史が紡ぐ多文化世界』アマルティア・セン（著）佐藤宏・栗屋利江（訳）、明石書店、2008 年 7 月 5 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 20 年 9 月 9 日号。
- (92) 『学力問題のウソ――なぜ日本の学力は低いか』小笠原善康（著）、PHP 研究所、2008 年 9 月 30 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 20 年 10 月 27 日号。
- (93) 『早稲田と慶応――名門私大の栄光と影』橘木俊詔（著）、講談社現代新書、2008 年 9 月 20 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 20 年 11 月 25 日号。
- (94) 『徒歩で行く 150 億年の旅――歩こう。宇宙の塵がヒトになり種の大量絶滅に直面するまでの旅を』エリザベット・サトウリス（著）、太田直子（訳）バベルプレス、2008 年 8 月 20 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 21 年 1 月 12 日号。
- (95) 『生命保険はだれのものか』出口治明（著）、ダイヤモンド社、2008 年 11 月 28 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 21 年 3 月 16 日号。
- (96) 『大学の反省』猪木武徳（著）、NTT 出版、2009 年 4 月 17 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 21 年 5 月 18 日号。

- (97) 『商人（あきんど）』ねじめ正一（著）、集英社、2009 年 3 月 30 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 21 年 7 月 25 日号.
- (98) 『マイクロファイナンス：貧困と闘う「驚異の金融」』菅正広（著）、中公新書、2009 年 9 月 25 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 21 年 11 月 9 日号.
- (99) 『スノーボール ウォーレン・バフェット伝 上・下』アリス・シュローダー（著）、伏見威蕃（訳）日本経済新聞社、2009 年 11 月 19 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 22 年 2 月 1 日号.
- (100) 『ゴールは偶然の産物ではない FC バルセロナ流 世界最強マネジメント』フェラン・ソリアーノ（著）、グリーン裕美（訳）アチーブメント出版、2009 年 12 月 1 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 22 年 4 月 3 日号.
- (101) 『ゴールは偶然の産物ではない FC バルセロナ流 世界最強マネジメント』フェラン・ソリアーノ（著）、グリーン裕美（訳）アチーブメント出版、2009 年 12 月 1 日刊、『週刊ダイヤモンド』平成 22 年 4 月 3 日号.
- (102) 『グローバルインバランス 歴史からの教訓』バリー・アイケングリーン（著）、畑瀬真理子・松林洋一（訳）東洋経済新報社、2010 年 5 月 6 日刊、『週刊ダイヤモンド』平成 22 年 6 月 14 日号.
- (103) 『単身急増社会の衝撃』藤森克彦（著）日本経済新聞社、2010 年 5 月 25 日刊、『週刊ダイヤモンド』平成 22 年 8 月 14・21 日合併号.
- (104) 『貨幣進化論「成長なき時代」の通貨システム』岩村充（著）、新潮選書、『波』（新潮社）2010 年 10 月号.
- (105) 『This Time is Different: Eight Centuries of Financial Folly』Carmen M. Reinhart and Kenneth S. Rogoff（著）、Princeton University Press、2009 年、『The Ascent of Money: A Financial History of the World』、Niall Ferguson（著）、The Penguin Press、2008 年、「金融危機をどう考えるか」『H Q』（一橋大学）2010 年秋号.
- (106) 『ガンディーの経済学 倫理の復権を目指して』アージット・K. ダースグプタ（著）、石井一也（監訳）、板井広明、小畑俊太郎、太子堂正称、前田幸男、森達也（訳）作品社、2010 年 10 月 2 日刊、『週刊ダイヤモンド』平成 22 年 10 月 18 日号.
- (107) 『日本の税制』森信茂樹（著）岩波書店、2010 年 9 月 29 日刊、『週刊ダイヤモンド』平成 22 年 12 月 13 日号.
- (108) 『国家債務危機』ジャック・アタリ（著）林昌宏（訳）、作品社、2011 年 1 月 15 日刊、『週刊ダイヤモンド』平成 23 年 2 月 21 日号.
- (109) 『もうすぐ絶滅するという紙の書物について』ウンベルト・エーコ、ジャン＝クロード・カリエール（著）工藤妙子（訳）、阪急コミュニケーションズ、2010 年 12 月 30 日刊、『週刊ダイヤモンド』平成 23 年 4 月 23

日号.

- (110) 『人質の朗読会』小川洋子（著）、中央公論新社、2011年2月25日刊、『週刊ダイヤモンド』平成23年6月25日号.
- (111) 『すべてはどのように終わるのかーあなたの死から宇宙の最後まで』クリス・インピー（著）小野木明恵（訳）、早川書房、2011年1月25日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成23年8月27日号.
- (112) 『危機の指導者 チャーチル』富田浩司（著）、新潮選書、2011年9月20日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成23年10月29日号.
- (113) 『金融が乗っ取る世界経済 21世紀の憂鬱』ロナルド・ドーア（著）、中公新書、2011年10月2日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成23年12月31日・平成24年1月7日 新年合併号.
- (114) 『戦前期日本の金融システム』寺西重郎（著）、岩波書店、2011年12月6日刊、平成24年3月3日号.
- (115) 『日露戦争、資金調達の戦い 高橋是清と欧米バンカーたち』板谷敏彦（著）、新潮選書、2012年2月25日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成24年5月12日号.
- (116) 『タックス・ヘイブンの闇 世界の富は盗まれている！』ニコラス・シャクソン（著）藤井清美（訳）、朝日新聞出版、2012年2月29日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成24年7月7日号.
- (117) 『文明 西洋が覇権をとれた6つの真因』ニール・ファーガソン（著）仙名紀（訳）、勁草書房、2012年7月20日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成24年9月8日号.
- (118) 『日本農業への正しい絶望法』神門義久（著）、新潮新書、2012年9月20日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成24年11月10日号.
- (119) 『紙の約束 マネー、債務、新世界秩序』フィリップ・コガン（著）松本剛史（訳）、日本経済新聞出版社、2012年11月22日刊、平成25年1月12日号.
- (120) 『ケインズかハイエクか 資本主義を動かした世紀の対決』ニコラス・ワプショット（著）久保恵美子（訳）、新潮社、2012年11月20日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成25年3月9日号.
- (121) 『アカウントビリティを考える どうして「説明責任」になったのか』山本清（著）、NTT出版、2013年3月1日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成25年5月11日号.
- (122) 『異次元緩和 黒田日銀の戦略を読み解く』井上哲也（著）、日本経済新聞出版社、2013年5月22日刊、「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成25年7月6日号.
- (123) 『業火の試練 エイブラハム・リンカンとアメリカ奴隷制度』エリック・フォークナー（著）森本奈理（訳）、白水社、2013年7月10日刊、「書

林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 25 年 9 月 14 日号.

- (124) 『世界恐慌 経済を破綻させた 4 人の中央銀行総裁 (上・下)』ライア
カット・アハメド (著) 吉田利子 (訳)、筑摩選書、2013 年 9 月 15 日刊、
「書林探索」『週刊ダイヤモンド』平成 25 年 11 月 9 日号.
- (125) 『日本人には二種類いる 1960 年の断層』岩村暢子 (著)、新潮新書、
2013 年 10 月 20 日刊、平成 26 年 1 月 11 日号.
- (126) 『中央銀行制度の経済学 ——新制度経済学からのアプローチ——』折
谷吉治 (著)、学術出版会、2013 年 11 月 25 日刊、「書林探索」『週刊
ダイヤモンド』平成 26 年 3 月 8 日号.
- (127) 『宇宙の始まりと終わりはなぜ同じなのか』ロジャー・ペンローズ (著)
竹内薫 (訳)、新潮社、2014 年 1 月 25 日刊、「書林探索」『週刊ダイヤ
モンド』平成 26 年 5 月 3・10 日合併号.
- (128) 『労働時間の経済分析：超高齢社会の働き方を展望する』山本勲、黒田
祥子 (著)、日本経済新聞社、2014 年 4 月 23 日刊、「書林探索」『週刊
ダイヤモンド』平成 26 年 7 月 12 日号.
- (129) 『データの見えざる手 ウェアラブルセンサが明かす 人間・組織・社
会の法則』矢野和男 (著)、草思社、2014 年 7 月 25 日刊、「書林探索」
『週刊ダイヤモンド』平成 26 年 9 月 13 日号.
- (130) 『異次元緩和 黒田日銀の戦略を読み解く』井上哲也 (著)、日本経済
新聞出版社、『月刊資本市場』2013 年 7 月号 No.335.
- (131) 『中央銀行が終わる日 ビットコインと通貨の未来』岩村充 (著)、新
潮選書、『波』新潮社、2016 年 4 月号.

VIII. 学会・国際会議報告

- (1) “A Fiscal Policy Game with Overlapping Generations”, presented at the 1987 Far
Eastern Meeting of the Econometric Society at Aoyama Gakuin University in
Tokyo on 10-11 October, 1987
- (2) “Public Policies and Household Saving in Japan”, presented at the NBER meeting
at Boston in June 1992
- (3) 「財政赤字の政治経済学」、1992 年度理論・計量経済学会、九州大学
- (4) “Household Saving Behavior in Japan”, presented at the NBER meeting at Miami
in March 1993
- (5) 「インデックス債の意義とその発行可能性」、1993 年度理論・計量経済学会、
法政大学
- (6) “Refinement of The Japanese Consumer Behaviour under Financial Liberalisation
and Demographic Change”, 1993 年度秋期金融学会、長崎大学
- (7) “Tax Incentives and Personal Saving in Japan” presented at the NBER/OECD joint
meeting at Paris in May 1994

- (8) “Feldstein-Horioka Paradox Revisited”, 1994 年度統計学会、東京
- (9) “Tax Incentives and Personal Saving in Japan”, 1994 年度理論・計量経済学会、南山大学
- (10) “Feldstein-Horioka Paradox Revisited”, 1994 年度理論・計量経済学会、南山大学
- (11) 「物価インデックス債と実質金利」、1995 年度春期金融学会、早稲田大学
- (12) “Feldstein-Horioka Paradox Revisited” presented at the Seventh World Congress of the Econometric Society at Keio University, Tokyo in August 1995.
- (13) 「物価インデックス債と金融政策」、1995 年度理論・計量経済学会、学習院大学
- (14) “Measuring Real Interest Rate Directly”, 1995 年度理論・計量経済学会、学習院大学
- (15) 「最適な貨幣発行単位の選択について」、1996 年度理論・計量経済学会報告論文、大阪大学
- (16) 「サプライ・サイド情報を利用した消費に基づく資産価格モデルの推計」、1996 年度理論・計量経済学会報告論文、大阪大学
- (17) “Generational Accounting in Japan” presented at the Centre for Economic Policy Research workshop at London (LSE) in December 1996
- (18) 「価格・数量調整下でのマクロ経済学の再検討」、1997 年度理論・計量経済学会報告論文、早稲田大学
- (19) “Policy Simulation of Generational Accounting in Japan” 1997 年度理論・計量経済学会報告論文、早稲田大学
- (20) “The Big Mac Standard: A Statistical Perspectives” (with Hiroshi Fujiki), 1998 年日本経済学会報告論文、立命館大学
- (21) “Lessons from Generational Accounting in Japan”, Annual Meeting of American Economic Association, New York, January 1999.
- (22) 「結婚の意思決定と出産行動への影響」 1999 年度日本経済学会報告論文、東京大学.
- (23) “Household Savings in Japan Revisited”, (with Noriyuki Takayama and Fumiko Arita), The Joint TMR-ESF-SFB504 Conference on Savings, Pensions, and Portfolio Choice, Deidesheim, Germany, April 2000.
- (24) “Household Saving in Japan Revisited”, (with Noriyuki Takayama and Fumiko Arita)、2000 年度日本経済学会報告論文、大阪府立大学
- (25) “An Econometric Analysis of Cohort Data from Household Savings in Japan”, presented in Far Eastern Meeting of Econometric Society, July 2001 in Kobe, Japan.
- (26) “Towards A New Architecture for the Japanese Financial System” presented in the International Conference, “Designing Financial Systems in East Asia and

- Japan—Toward a Twenty-First Century Paradigm,” (Hitotsubashi University and IMF), September 2001 in Tokyo, Japan. (with Megumi Suto and Juro Teranishi)
- (27) “Corporate Finance and Market Competition,” 2001 年度日本経済学会報告論文、一橋大学
- (28) 「結婚の意思決定に関するパネル分析」、2001 年度日本経済学会報告論文、一橋大学
- (29) 「結婚の意思決定に関するパネル分析」、全国文献情報センター人文社会科学学術情報セミナー、2001 年 11 月、東京大学
- (30) 「結婚の経済学」、2002 年度日本経済学会報告論文、広島大学
- (31) 「物価インデックス債の市場価格より得られる情報」、2003 年度日本経済学会報告論文、明治大学、2003 年 10 月
- (32) 「通貨単位の選択が商取引に与える影響：イラク新通貨制度の政策評価」、日本経済学会 2004 年 9 月 26 日
- (33) “The Japanese Pension System and Retirement Needs of Japanese Elderly”, Workshop on Aging and The Status of The Older Population in South East Asia, November 22-23, 2004, Institute of Southeast Asian Studies, Singapore.
- (34) “Dynamic Consumption Behavior: Evidence from Japanese Household Panel Data”, 2004 Taipei Conference on Macroeconomics and Development, December 16-17, 2004, Institute of Economics, Academia Sinica, Taiwan.
- (35) “Dynamic Consumption Behavior: Evidence from Japanese Household Panel Data”, Singapore Economic Review Conference, August 4-6, 2005, Singapore.
- (36) “Dynamic Consumption Behavior: Evidence from Japanese Household Panel Data”, 日本経済学会、2005 年 9 月 18 日、中央大学。
- (37) “Dynamic Consumption Behavior: Evidence from Japanese Household Panel Data,” 日本統計学会 2006 年 9 月 7 日「インターナショナル・セッション I (パネルデータ解析)、東北大学。
- (38) 「個人家計別物価指数の構築と分析」、日本経済学会 2006 年 10 月 21 日「日本経済の実証分析」、大阪市立大学。
- (39) 「国際流通市場における情報に基づく物価連動債の評価」、日本経済学会、2007 年 9 月 23 日、日本大学。
- (40) “Dynamic Consumption Behavior: Evidence from Japanese Household Panel Data,” Hitotsubashi Conference on Econometrics, November 24-25, 2007, Hitotsubashi University, Tokyo.
- (41) “Governance Issues in Public Pension System in Japan,” 日本経済学会、2008 年 9 月 15 日。
- (42) 「不完全市場化の生産性の推定と退出分析への応用」、北村行伸・西脇雅人・村尾徹士、日本経済学会春季大会、2009 年 6 月。
- (43) 「日本における限界税率の課税所得弾力性：1994 年から 2004 年までの全

国消費実態調査の個票データによる分析」、北村行伸・宮崎毅、日本経済学会秋季大会、2009 年 10 月。

- (44) 「家計の資産選択行動における学歴効果の再考」、北村行伸・内野泰介、日本金融学会秋季大会、2009 年 11 月、香川大学。
- (45) "Monetary policy under Large Public Debt," 日本経済学会秋季大会、2010 年 9 月 19 日、関西学院大学。(with Yasushi Asako)
- (46) "Monetary Policy in Japan," The Second Policy Forum in Asian Monetary Policies in East Asia, April 22, 2011, Renmin University of China.
- (47) 「家計別消費者物価指数と金融政策」、日本金融学会春季大会、2011 年 6 月、明治大学。
- (48) 「所得不平等と税の所得再分配機能の評価 —1984-2004 年—」、北村行伸・宮崎毅、日本経済学会春季大会、2012 年 6 月、北海道大学。
- (49) "Statistical Analysis of Human Growth Pattern: Evidence from the Japanese Panel Data," The 2013 International Symposium on Analysis of Panel Data in Honor of Professor Cheng Hsiao for His Contributions to Panel Data Analysis and to WISE, June 8-9, 2013, Xiamen University, China.
- (50) "Marriage Behavior from the Perspective of Intergenerational Relationships," Comparative Study between Korea and Japan on Aging Trend, Economic Social Impact, and Policy Implications, August 29-30, 2013, Korea University, Korea. (招待講演)
- (51) "Can We Stabilize the Price of a Cryptocurrency?: Understanding the Design of Bitcoin and Its Potential to Compete with Central Bank Money," The Ecology of Digital Assets: Identity, Trust & Data, MIT Media Lab, July 30-31, 2014. (with Mitsuru Iwamura)
- (52) "Can We Stabilize the Price of a Cryptocurrency?: Understanding the Design of Bitcoin and Its Potential to Compete with Central Bank Money," Singapore Economic Review Conference 2015, August 2-7, 2015.